

2006 年 6 月 2 日
日本銀行盛岡事務所

岩 手 県 金 融 経 済 概 況

1. 概 況

- 県内経済は、緩やかな持ち直しの動きが続いている。
- すなわち、生産動向をみると、ＩＴ関連分野や自動車関連分野を中心に全体として緩やかに持ち直しており、こうした状況を反映して雇用情勢も改善傾向にある。

一方、最終需要の動向をみると、個人消費は、弱めの動きとなっている。
住宅投資は、増加している。公共投資は、減少傾向にある。

2. 最終需要

(1) 個人消費

- 個人消費は、家電販売が堅調に推移しているが、大型小売店の売上げを中心に全体としてなお弱めの動きが続いている。

(大型小売店売上高)

百貨店・量販店の売上げは、気温が低めで推移し、主力衣料品が春物を中心に低調であったこと等から、前年を下回って推移している。

(家電量販店売上高)

家電売上高は、堅調な動きを続けている。白物家電の動きが鈍いものの、サッカーワールドカップ開催を控え、薄型テレビやＤＶＤレコーダーの販売が好調であるほか、パソコンも低価格品や大画面・デジタル放送対応機種を中心に幾分動意がみられている。

(乗用車新車登録台数)

4 月の乗用車新車登録台数（軽自動車を含む）は、軽自動車が引続き好調に推移しているものの、小型車・普通車がともに減少したことから、全体では前年を下回った。

(2) 住宅投資

- 4月の新設住宅着工戸数は、貸家の増加が一服しているものの、持家、分譲を中心に前年を上回った。

(3) 公共投資

- 公共工事請負金額をみると、予算規模の縮小から減少傾向にある。

3. 生産動向

- 生産面では、IT関連分野において回復傾向にあるほか、自動車関連分野での完成車を中心とする増産等もあって、全体として緩やかに持ち直している。

(電気機械)

半導体では、海外の携帯電話向け等を中心に回復傾向にある。電子部品については、自動車、パソコン向け等を中心に高水準の生産が続いている。

(輸送用機械)

完成車は、輸出車中心に高操業を続けている。また、自動車部品では、海外需要が好調であることから、フル生産を続けている。

(設備関連)

工作機械では、内外の自動車および同部品メーカーからの豊富な受注残を抱え、フル操業を続けている。

(その他)

鉄鋼(線材)は、海外製品の流入もあって在庫過剰感が台頭しており、低操業を続けている。

合板、セメントやコンクリート二次製品など建設関連品目では、一部に関東を中心とするマンション関連の受注増加もみられるが、公共投資の減少等を背景として、生産能力をかなり下回る低水準の生産が続いている。

紙・パ(段ボール原紙)は、食料品・飲料品向け需要の好調から、高水準の生産が続いている。

4. 雇用・所得動向

- 雇用情勢をみると、有効求人倍率が、製造業での生産持ち直し等を背景として、改善傾向にある。
一方、所得面をみると、雇用者所得は前年を下回って推移している。

5. 企業倒産

- 企業倒産をみると、5月は大型倒産の発生から負債金額が増加したものの、件数では落ち着いた動きが続いている。

6. 金融動向

- 預金は、法人預金が弱めの動きとなっている一方、個人預金が堅調に推移しているほか、公金預金が増加したこともあって、前年並の水準で推移している。
- 貸出は、法人向けが、製造業の一部や不動産賃貸業向け等で動意が窺われるものの、建設業等向けを中心に減少している。一方、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移しているほか、地公体向けも増加していることから、全体では前年並みの水準となっている。

以 上